

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名 大事なことをたしかめよう「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」

2 本単元の目標

- 大豆をおいしく食べるための工夫や、その工夫をしてきた昔の人々の知恵を読み取り、身近な食べ物についての興味・関心を高めることができる。
- 中心となる語や文をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら文章を読むために、「接続語を読む」「指示語を読む」「文末を読む」「似た言葉と比べて読む」読み方を使ったり、「段落と段落を比べて読む」読み方を身に付けたりすることができる。
- 身近な食べ物について調べ、書こうとすることの中心を明確にし、段落の役割や段落相互の關係に注意して文章を書き、友達と交流することができる。

3 学習指導の考え方

- 本学年の子どもたちは、これまでに「ありの行列」の学習を通して、段落の中心となる語や文をとらえて文章の内容を読み取る学習をしてきた。その際、「問いかけ」「まとめ」など段落のもつ意味を考えたり、接続語や指示語、文末を読む読み方を身に付けてきている。しかし、自分から進んで読み方を使って読んだり、段落相互の関係を考えながら全体の構成を把握しながら読んだりすることは、まだ十分ではない。
- 本単元は、身近な食べ物である大豆を題材にして書かれた説明文を、中心となる語や文、段落相互の關係に注意して読み、その後自分が興味をもった食べ物について調べて文章にまとめていく「読むこと」と「書くこと」の複合単元である。本教材「すがたをかえる大豆」は、そのままでは固くて食べにくく消化もよくない大豆に、いろいろ手を加えておいしく食べる工夫をしてきた昔の人々の知恵のすばらしさを伝えている説明文である。文章構成は3つに分かれており、「はじめ」(①②段落)で話題提示をし、「中」(③④⑤⑥⑦段落)では大豆を食べる工夫について5つの事例を述べ、「おわり」(⑧⑨段落)ではまとめと筆者の思いが書かれている。また、「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」「さらに」「これらのほかに」という書き出しの言葉や、「なります」「できあがります」「できます」などの似た言葉に着目することで、段落と段落を比べて読む読み方を身に付け、段落相互の關係を考えながら文章を読み取るのに適した教材であると考えられる。
- 指導にあたっては、単元名やリード文から単元全体の見通しをもたせ、大豆について知っていることや、題名から疑問に思うことなどを出させ、冒頭の文とつなぎながら、読み通しの目「①おいしく食べるためにどんなくふうをして、大豆はどんな食品にすがたをかえるのだろう。②食べにくく、消化もよくない大豆を、ほとんど毎日食べているのはなぜだろう。」を生み出す。
予見の段階では、まず読み通しの目に沿って全文を読み、「くふう」という言葉や大豆が姿を変えた食品に着目し、予見につながる場所に線を引かせる。その後予見をそれぞれ書きまとめさせ、書きまとめた予見について話し合い、クラスの予見としてまとめていく。
学習計画の段階では、接続語や順序を表す語など段落相互の關係を表す言葉を手がかりに、「はじめ(話題提示)ー中(事例)ーおわり(まとめ)」の段落構成に気付かせる。そして⑨段落の「～昔の人々のちえにおどろかされます。」という文から、筆者が昔の人々の知恵はすごいなあと思われたところをくわしく読み確かめる学習計画を立てる。
読み確かめの段階では、5つの事例について、接続語や指示語、文末に着目させたり、似た言葉と比べて読むことで、③～⑥段落は次第に多くの工夫を要する食品へと姿を変える事例が順に述べられているということ、⑦段落ではこれまでとは違った工夫の事例が述べられていて、そこに筆者の意図が表れていることなどについてくわしく読み確かめていく。
読みのまとめの段階では、筆者が驚かされた知恵を振り返り、これまでの学習から、読んで分かったことや考えたことを書きまとめていく。
発展の段階では、興味をもった食べ物について調べ、調べた内容を取捨選択しながら情報を整理し、構成を考えさせてから文章にまとめさせる。

4 学習指導計画（全17時間）

次時	主な学習活動	指導上の留意点	学習する読み方																		
一 読み通しの目	<p>1 単元名とリード文から学習の見直しをもつ。</p> <p>2 題名と冒頭の読みをつないで、読み通しの目を生み出すことを確かめる。</p> <p>3 題名について話し合う。</p> <p>4 題名と冒頭（①②段落）から、読み通しの目をつくる。</p> <p>読み通しの目</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① おいしく食べるためにどことなくふうをして、大豆はどんな食品にすがたをかえるのだろう。</p> <p>② 食べにくく、消化もよくない大豆を、ほとんど毎日食べているのはなぜだろう。</p> </div>	<p>○ 単元名とリード文から、「すがたをかえる大豆」を読んだ後「食べ物はかせになろう」で食べ物について調べ、書く活動につないでいくことを見通せるようにする。</p> <p>○ 実際に大豆を提示し、固くて食べにくいことを実感させる。</p> <p>○ ①段落「多くの人がほとんど毎日口にして」「大豆はいろいろな食品にすがたをかえているので～」と、②段落「そのままでは食べにくく、消化もよくありません」「～いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうを～」という叙述に着目させ、読み通しの目につないでいく。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 題名を読む </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;"> 冒頭を読む </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px; margin-top: 20px;"> 指示語を読む </div>																		
二 予見	<p>3 1 全文を読み、読み通しの目の答えを書きまとめることを確かめる。</p> <p>2 全文を読み、難語句を調べ、新出漢字の練習をする。</p> <p>3 予見につながる言葉にサイドラインを引きながら読む。</p> <p>4 予見①②を書きまとめる。</p> <p>5 クラスの予見①をまとめる。</p> <p>予見①</p>	<p>○ 国語辞典を使って言葉の意味調べをさせる。</p> <p>○ 形式段落①～⑨に番号をつけさせる。</p> <p>○ 「くふう」という言葉や食品名を見つければよいことに気付かせる。</p> <p>○ 表に、読み通しの目①の答えを書かせるようにする。</p> <p>○ ①について、「くふう」や食品名の落ちがないか、見直しをさせる。</p> <p>○ ②については、次時に話し合いをすることを伝える。</p>																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">段落</th> <th style="width: 50%;">くふう</th> <th style="width: 40%;">食品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③</td> <td>いったり、にたりしてやわらかくおいしくするくふう</td> <td>豆まきの豆 に豆</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>こなにひいて食べるくふう</td> <td>きなこ</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう</td> <td>とうふ</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう</td> <td>なっとう みそ しょうゆ</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>とり入れる時期や育て方のくふう</td> <td>えだ豆 もやし</td> </tr> </tbody> </table>			段落	くふう	食品	③	いったり、にたりしてやわらかくおいしくするくふう	豆まきの豆 に豆	④	こなにひいて食べるくふう	きなこ	⑤	大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう	とうふ	⑥	目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう	なっとう みそ しょうゆ	⑦	とり入れる時期や育て方のくふう	えだ豆 もやし	
段落	くふう	食品																			
③	いったり、にたりしてやわらかくおいしくするくふう	豆まきの豆 に豆																			
④	こなにひいて食べるくふう	きなこ																			
⑤	大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう	とうふ																			
⑥	目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう	なっとう みそ しょうゆ																			
⑦	とり入れる時期や育て方のくふう	えだ豆 もやし																			

三 学 習 計 画	<p>1 1 予見②について話し合い，学習計画を立てることを確かめる。</p> <p>2 予見②を根拠となる叙述について発表し合ってまとめる。</p>	<p>○ 大豆をほとんど毎日食べているわけについて，叙述をもとに発表できるよう，根拠となった叙述を明らかにさせておく。</p> <p>○ ⑧段落の指示語「このように」から，まとめが書かれていることを確かめる。</p>	<p>指示語を読む</p> <p>文末を読む</p>	
<p>味がよく，たくさんのえいようをふくんでいて，強く育てやすいという大豆のよいところに気づき，食事に取り入れてきた昔の人々のちえがあったから。</p>		<p>3 筆者（国分さん）が，昔の人々の知恵はすごいなあと驚かされたところを読み確かめる計画を立てる。</p>		<p>○ ⑨段落の「～におどろかされます」の叙述には，筆者の思いが表れていることから，筆者が感嘆したのはどんなことから読み確かめる意欲につなぐようにする。</p>
四 読 み 確 か め	<p>1 1 ③④段落を読み，筆者が昔の人々の知恵に驚かされたところを読んでいくことを確認する。</p> <p>2 大豆をやわらかく，おいしくする工夫を読み取る。</p> <p>3 筆者が驚かされたと思うところにサイドラインを引く。</p> <p>4 線を引いた叙述に自分の考えを書き込み，話し合う。</p>	<p>○ 昔の人々の知恵が分かる叙述にサイドラインを引かせる。</p> <p>○ 「いちばん分かりやすいのは」という叙述から，③段落と④段落の内容を比べさせ，⑤段落以降を読み確かめる際の視点を与える。</p>	<p>段落と段落を比べて読む</p> <p>似た言葉と比べて読む</p>	
<p>国分さんは，そのままではかたくて食べにくい大豆をいったり，にたり，こなにひいたりして食べやすくおいしくした昔の人々のちえに，すごいなあとおどろかされた。</p>		<p>1 1 ⑤段落を読み，筆者が昔の人々の知恵に驚かされたところを読んでいくことを確認する。</p> <p>2 大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出して，違う食品にする工夫を読み取る。</p> <p>3 筆者が驚かされたと思うところにサイドラインを引く。</p> <p>4 線を引いた叙述に自分の考えを書き込み，話し合う。</p>		<p>○ 豆腐を作るのは手間がかかることを確かめるため，豆腐作りの手順が視覚的にとらえやすくなるよう掲示物を準備する。</p> <p>○ ③④段落と比べて考えさせる。</p>
<p>国分さんは，いろいろな手をくわえると大豆の大切なえいようを取り出すことができ，おいしいとうふができるということ考えた昔の人々のちえに，すごいなあとおどろかされた。</p>		<p>1 1 ⑥段落を読み，筆者が昔の人々の知恵に驚かされたところを読んでいくことを確認する。</p> <p>2 目に見えない小さな生物の力を</p>		<p>○ 大豆と納豆，大豆とみそやしょうゆを比べて考えさせ，小さな生物が，人間の力だけではできない食品の変化を生み出していることを確かめさせる。</p> <p>○ ③～⑤段落と比べて考えさせる。</p>

	<p>かりて、違う食品にする工夫を読み取る。</p> <p>3 筆者が驚かされたと思うところにサイドラインを引く。</p> <p>4 線を引いた叙述に自分の考えを書き込み、話し合う。</p>		
	<p>1 ⑦段落を読み、筆者が昔の人々の知恵に驚かされたところを読んでいくことを確認する。</p> <p>2 とり入れる時期や育て方の工夫を読み取る。</p> <p>3 筆者が驚かされたと思うところにサイドラインを引く。</p> <p>4 線を引いた叙述に自分の考えを書き込み、話し合う。</p>	<p>○ ③～⑥段落は、昔の人々が、手を加えることに知恵を働かせたことに対し、⑦段落では、簡単にする知恵であることに気付かせ、段落構成にも目を向けさせる。</p>	<p>接続語を読む</p> <p>指示語を読む</p>
<p>五 読 み の ま と め</p>	<p>1 これまでの学習を振り返り、読みのまとめと読み方のまとめを確かめる。</p> <p>2 これまで学習してきた、筆者が驚かされたことを振り返る。</p> <p>3 読んで分かったことや、考えたこと、読み方のまとめをする。</p>	<p>○ ③～⑦段落で、筆者が驚かされたことについて、掲示物を用いて振り返らせる。</p> <p>○ 姿を変える食べ物は大豆以外にもあることを知らせ、次時以降の調べ学習に意欲をもてるようにする。</p>	
<p>六 発 展</p>	<p>1 「食べ物はかせ」になるために、調べた食べ物についてカードに整理し、文章に書きまとめることを確かめる。</p> <p>2 「食べ物はかせになろう」を読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>3 調べる食べ物を決め、必要な資料を探し、カードに調べた事柄を書き出す。</p> <p>4 カードをもとに情報を整理し、段落に気を付けながら文章に書きまとめる。</p> <p>5 互いに文章を読み合い、感想を交流し合う。</p>	<p>○ 調べた内容をカードに書き、取捨選択しながら情報を整理して書かせる。</p> <p>○ カードをもとに、構成を考えさせるが、段落の分け方など適宜助言していく。</p> <p>○ 考えの明確さや、書き方の巧みさなどについて、意見を述べ合うようにさせる。</p>	

国分さんは、人間ではできないことを、目に見えない小さな生物の力をかりて、なっとうやみそやしょうゆにしているいろいろなおいしい食べ方を考えた昔の人々のちえに、すごいなあとおどろかされた。

国分さんは、とり入れる時期や育て方のくふうをすれば、かんたんにダイズを食べられることに気づいた昔の人々のちえに、すごいなあとおどろかされた。

第3学年O組

5 本時 (5 / 17)

6 本時の目標

- 予見の話し合いを通して、段落相互の関係や段落の役割が分かり、筆者の思いが書かれた叙述をもとに読み確かめの視点を持ち、学習計画を立てることができる。
- 段落相互の関係や段落の役割を考えるために、「指示語を読む」「文末を読む」読み方を使うことができる。

7 本時指導の考え方

子どもたちは、前時に、読み通しの目「①おいしく食べるためにどんなくふうをして、大豆はどんな食品にすがたをかえるのだろう。」に対する予見①を表にまとめ、「②食べにくく、消化もよくない大豆を、ほとんど毎日食べているのはなぜだろう。」に対して各自が予見②を書いている。

本時は、予見②の話し合いと⑨段落「おどろかされます」についての話し合いを通して、読み確かめの視点を「国分さん（筆者）が昔の人々のちえはすごいなあとおどろかされたところを読み確かめよう。」と設定し、学習計画を立てる学習である。

本時指導にあたっては、まず、前時に各自が書いた予見②について、根拠となる叙述を明らかにしながら発表させる。この際、②段落からまとめた考えと、③～⑦段落の事例を根拠にした考えは、⑧段落「大豆がいろいろなすがたで食べられている」という考えにまとめられることを、指示語を読んだり、板書を使ったりしながら確かめる。その上で、「味がよく」「畑の肉といわれるくらいたくさんえいようをふくんでいる」「やせた土地にも強く、育てやすい」という「大豆のよいところに気付き、食事に取り入れてきた昔の人々のちえ」があったことが、「大豆をほとんど毎日食べているわけ」であることを確かめ、予見②をまとめる。

次に、⑨段落の文末「おどろかされます」には筆者の思いが表れていることを、⑧段落の文末と比べて確かめ、「おどろく」には「すごいなあと感心する」意味があることを子どもたちの生活経験とつないで考えさせるようにする。そして、筆者は何にすごいなあと驚かされたのか、自分の読みと比べて考えさせ、読み確かめの視点を定める。

最後に、どこを読めば筆者の驚きを読み確かめられるかについて考えさせ、学習計画を立てる。また、「ありの行列」の学習を想起させたり、読み方の掲示物に目を向けさせたりして、どの読み方が見えそうか見通しをもつことができるようにする。

8 板書例

すがたをかえる大豆
めあて
予見の話し合いをして、読みたしかめる計画を立てよう。
国分 牧衛

②手をくわえておいしく食べるくふう

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

くふう

大豆はいろいろなすがたで食べられて大豆が味もよく、畑の肉といわれるくらいたくさんえいようをふくんでいる。強く、育てやすい。多くのちいきで植えられた

⑧指示語
このように

⑨大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえ
予見②

味がよく、たくさんえいようをふくんでいて、強く育てやすいという大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえがあったから。

大豆をほとんど毎日食べているわけ

国分さんがすごいなあと感心する
文末

おどろかされます。

学習計画
国分さんが、昔の人々のちえはすごいなあとおどろかされたところを読みたしかめよう。

③段落 ↓ ⑤ ↓ ⑥ ↓ ⑦段落
をくわしく読めばいい
見えそうな読み方は、

9 本時の展開

時	学習活動と内容	指導上の留意点
5	<p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="244 360 777 474" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予見の話し合いをして、読み確かめる計画を立てよう。</p> </div>	<p>○ 前時の学習を掲示物を使って振り返れるようにしておく。</p>
2	<p>2 読み通しの目②に対する予見②について話し合い、まとめる。</p> <p>(1) 自分の考えと根拠を発表し合う。 「手をくわえておいしく食べるくふうをして」いるから ②段落 「くふう」と「食品」の事例 ③～⑦段落 「大豆はいろいろなすがたで食べられて」いるから ⑧段落 「味がよく」「畑の肉といわれるくらいたくさんのおいようをふくんでいる」「やせた土地にも強く、育てやすい」「多くのちいきでうえられた」から ⑧段落 「大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえ」があったから ⑨段落</p> <p>(2) 予見②をまとめる。</p> <div data-bbox="244 1211 777 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>味がよく、たくさんのおいようをふくんでいて、強く育てやすいという大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえがあったから。</p> </div>	<p>○ 前時に子どもたちが書いた考えを把握しておき、指名計画を立てておく。</p> <p>○ 自分の考えの根拠が、どの段落のどの叙述にづくのかはっきりさせて発表させる。</p> <p>○ の考えは、③～⑦段落に、「くふう」として書かれていることを前時の掲示物を用いて関係付けるようにする。</p> <p>○ の考えは、 の考えとして⑧段落にまとめられていることに、指示語「このように」に着目させて気付かせる。</p> <p>○ と の考えをつなぎ、予見②をまとめるようにする。</p>
1 5	<p>3 読み確かめの視点をまとめ、学習計画を立てる。</p> <p>1 「おどろかされます」について話し合う。</p> <p>2 学習計画を立てる。</p> <div data-bbox="244 1675 777 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>国分さんが、昔の人々のちえはすごいなあとおどろかされたところを読みたしかめよう。</p> </div>	<p>○ 「おどろかされます」には筆者の思いが表れていることを、⑧段落の文末「からです」「ためでもあります」を比してとらえさせる。</p> <p>○ 筆者の驚きと、自分の読みと比べさせ、読み確かめる必要感をもてるようにする。</p> <p>○ どこを読んでいたら「筆者が、すごいなあと思ったところ」を読み確かめられるか問いかけ、③④段落、⑤段落、⑥段落、⑦段落の順で考えていくことを確かめる。</p>
5	<p>4 日の学習を振り返る。</p> <p>1 本時に使った読み方を振り返る。</p> <p>2 習の読み方をどう生かしていくかの見通しをもつ。</p>	<p>○ 「ありの行列」の学習を想起させたり、読み方の掲示物に注目させたりして、次時以降に習の読み方をどう生かしていくかの見通しをもたせる。</p>

第3学年〇組

5 本時 (7 / 17)

6 本時の目標

- 大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出して、違う食品にする工夫を読み取り、筆者がどんな知恵に驚かされたのか読み確かめることができる。
- ③④段落に比べて、手がより加えられていることを読むために、「接続語を読む」「似た言葉と比べて読む」読み方を使ったり、「段落と段落を比べて読む」読み方を身に付けたりすることができる。

7 本時指導の考え方

子どもたちは、前時に、③④段落で「国分さんは、かたくて食べにくい大豆をいったり、にたり、こなにひいたりして食べやすくおいしくした昔の人々のちえに、すごいなあとおどろかされた」ということを読み確かめている。

本時は、⑤段落を読むことで「大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふう」をした昔の人々の知恵のすばらしさについて読み確かめる学習である。

本時指導にあたっては、まず、大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出して、違う食品にする工夫を読み取る。「水をいっぱいにすいこんだ」「すりつぶす」「水をくわえて熱する」「しぼり出す」「ニガリをくわえてかためる」など、手を加えたと分かる言葉を取り出し、体的にどうすることなのかを確認しながら や を順番に掲示することで、理 をより める。また、③④段落と比べたり、接続語「また」を読んだりすることで、より手が加えられているということや説明が分かりやすい事柄の順序になっていることを確かめる。

次に、筆者が驚かされたと分かる叙述に線を引き、その 分についての自分の考えを書き込み、話し合う。その際、子どもたち自身が「大変だなあ・すごいなあ」と思うところに線を引かせ、「自分だったら」「 で見たけど」「おうちの人から いたんだけど」などと生活経験と つけて考えるように する。このとき、「できあがります」という表 に着目させ、前時に学習した段落の「なります」という言葉と比べることで筆者がこの言葉を選んだ意図を考えさせる。

最後に、話し合った知恵について学習 リン に書きまとめさせていく。その際、「国分さんは・・・昔の人々のちえにすごいなあとおどろかされた。」と書き出しと 末をあらかじめ学習 リン に書いておき、まとめやすくしておく。本時のまとめをする際には、表 に、本時学習で学んだ読み方を使って分かったことを、板書を使いながら発表させる。

8 板書例

<p>大事なことをつかめよう すがたをかえる大豆 国分牧衛</p>	<p>めあて ⑤段落を読み、国分さんが、昔の人々のちえはすごいなあとおどろかされたところを読みたしめよう。</p>	<p>③そのかたちのまま ④こなにひく えいようのがさないうにした 段落と段落をくらべて</p> <p>接続語 ⑤また、大豆にふくまれる大切なえいようだけを 取り出して、ちがう食品にするくふうもあります。</p>	<p>やわらかくするため・時間がかかる 水をいっぱいすいこんだ大豆を えいようを取り出すため・力があるからたいへん すりつぶすと、白っぽいしるが出来ます。</p> <p>これに水をくわえて熱します。 火をくわえること</p> <p>えいようだけを取り出すため その後、ぬのを使って中身をしぼり出し、 かためるとおいしいとうふになると考えたのがすごい かためるためにニガリというものをくわえます。</p>	<p>まとめ 国分さんは、いろいろな手をくわえると大豆の大切なえいようを取り出すことができ、おいしいとうふができるとうふのことを考えた昔の人々のちえにすごいなあとおどろかされた。</p> <p>なります たくさん手間がかかります</p> <p>こうすると、とうふができてあがります。 似た言葉とくらべて</p>
---	---	--	---	---

9 本時の展開

時	学習活動と内容	指導上の留意点
3	<p>1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑤段落を読み、国分さんが、昔の人々のちえはすごいなあとおどろかされたところを読みたしかめよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの③④段落に書かれた工夫を振り返り、③④段落は火を入れたり、こなにひいたりすることで食べやすくおいしくした昔の人々の知恵に対する驚きであったことを想起させる。 ○ 学習計画表から、本時学習する「くふう」と食品名、読み確かめる内容を確認させる。
1	<p>2 ⑤段落を読み、大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出して、違う食品にする工夫を読み取る。</p> <p>(1) 大豆の栄養だけを取り出して、違う食品にする工夫を読み取る。</p> <p>(2) ③④段落と比べて、工夫の違いについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすいように、文章にそって や を順序よく掲示し、整理する。 ○ 前時の「に豆になります」の表 と「とうふができあがります」という表 を比べたり、接続語「また」に着目させることで、③④段落の ったり、 たり、 にひいたりする工夫に比べて、⑤段落の豆腐を作る工夫の方が、より手が加えられていることをとらえさせる。
2	<p>3 筆者は、大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出して違う食品にする工夫のどんなところがすごいなあと思っているのかを話し合う。</p> <p>(1) 筆者が驚かされたと分かる叙述に線を引く。</p> <p>(2) 線を引いた叙述から、筆者がなぜすごいなあと思っているのか、自分の考えを書き込む。</p> <p>(3) 自分の考えを発表し合い、筆者が昔の人々の知恵に驚かされたことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「大切なえいようだけを取り出して」「すりつぶす」「しぼり出し」「ニガリというものをくわえます」などの言葉に目を付けて考えさせることで、たくさんの手を加えることで大豆の大切な栄養を取り出して、おいしい豆腐を作った昔の人々の知恵に気付かせる。 ○ わけを書き込む際には、「自分だったら」「ふつうだったら」「 で見たけど」「おうちの人から いたんだけど」などと生活経験とつけた視点で考えさせる。 ○ いている人に分かりやすいように、上 のような表 を使って発表するように助言する。
1 2	<p>4 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) 筆者がすごいなあと驚かされたことを書きまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>国分さんは、いろいろな手をくわえると大豆の大切なえいようを取り出すことができ、おいしいとうふができるということを考えた昔の人々のちえにすごいなあとおどろかされた。</p> </div> <p>(2) 読み方と内容 のまとめを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習 リン に書き出しと わりの言葉をしておくことで、まとめやすくする。 ○ 表 に、板書を手がかりにしながら、本時学習で学んだ読み方を使って分かったことを発表させることで、全体での確認をする。

第3学年〇組

5 本時 (/ 17)

6 本時の目標

- ダイズをとり入れる時期や育て方を変えて食べる工夫を読み取り、筆者がどんな知恵に驚かされたのか、読み確かめることができる。
- ③④⑤⑥段落に比べ、工夫の 方が違うことを読むために、「指示語を読む」「似た言葉と比べて読む」「段落と段落を比べて読む」読み方を身に付けたりすることができる。

7 本時指導の考え方

子どもたちは、前時まで、⑤段落では、③④段落に比べ複 でより多くの手を加え、栄養だけを取り出して違う食品にした昔の人々の知恵のすばらしさに、筆者が驚かされていることについて読み取ってきた。⑥段落では、人間の力が ばないことを目に見えない小さな生物の力をかりてまで、違う食品にする人々の知恵のすごさに筆者が驚かされたことについても読み取ってきている。

本時は、とり入れる時期や育て方の工夫をして簡単に大豆を食べられるようにした、昔の人々の知恵のすばらしさについて読み確かめる学習である。

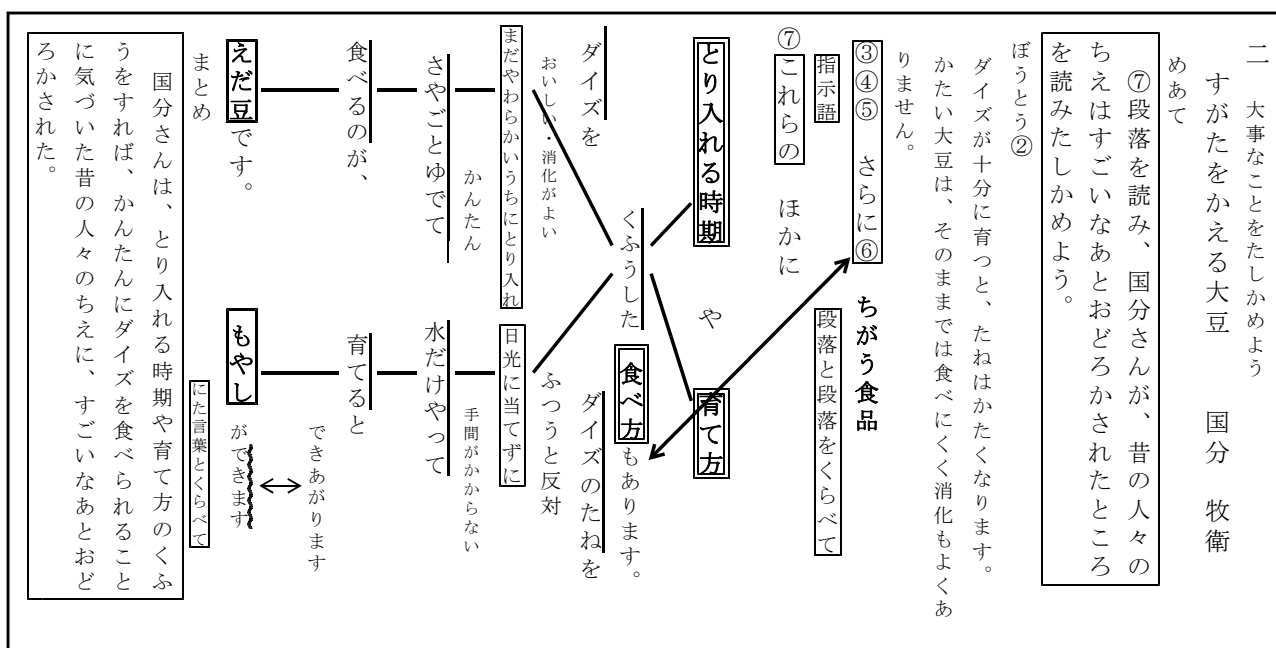
本時指導にあたっては、まず、「これらのほかに」の指示語が示す内容を考えさせた後、③～⑥段落までの書き出しの言葉と比べさせることで、⑦段落は までとは違った工夫なのだということに気付かせる。

次に、筆者が驚かされたと分かる叙述に線を引き、その 分についての自分の考えを書き込み、話し合う。「わかくてやわらかいうちにとり入れ」と「日光に当てずに水だけやって育てる」について、どうしてそんなことを思いついたのかを冒頭の②段落とつないで考えさせる。そのために、②段落を 読ませ、十分に育って固い大豆はそのままでは食べにくく、消化もよくないことを確かめる。

さらに、2年生の時に を育てた経験と比べて考えさせることで、昔の人々の発想を変えた工夫に気付かせたい。そして、「もやしができます」の「できます」と⑤段落の「できあがりです」を比べ、簡単においしく食べられるようにした昔の人々の知恵に気付かせたい。

最後に、「国分さんは・・・昔の人々のちえにすごいなあとおどろかされた。」と書き出しと 末をあらかじめ学習 リン においておき、まとめやすくする。

8 板書例



9 本時の展開

時	学習活動と内容	指導上の留意点
3	<p>1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑦段落を読み、国分さんが、昔の人々のちえはすごいなあとおどろかされたところを読みたしかめよう。</p> </div>	<p>○ 前時の⑥段落に書かれた工夫を振り返り、⑥段落は小さな生物の力をかりて違う食品にした昔の人々の知恵に対する驚きであったことを想起させる。</p>
7	<p>2 ⑦段落を読み、ダイズをとり入れる時期や育て方を変えて食べる工夫を読み取る。</p> <p>(1) とり入れる時期や育て方の工夫を読み取る。</p> <p>(2) ③～⑥段落と比して、工夫の違いについて話し合う。</p>	<p>○ 「これらのほかに」の「これら」とはどの段落のことかを考えさせる。</p> <p>○ ③～⑥段落は人や小さな生物の力によって、いろいろ手を加えて食品にしているが、⑦段落はとり入れる時期や育て方を工夫することによって簡単に食べられるようにしたという違いがあることを読み取らせる。</p>
25	<p>3 筆者は、とり入れる時期や育て方を工夫した食べ方のどんなところにすごいなあと思っているのかを話し合う。</p> <p>(1) 筆者が驚かされたと分かる叙述に線を引く。</p> <p>(2) 線をひいた叙述から、筆者がなぜすごいなあと思っていると考えるのか、自分の考えを書き込む。</p> <p>(3) 自分の考えを発表し合い、筆者が昔の人々の知恵に驚かされたことを話し合う。</p>	<p>○ 自分の経験と比べながら考えさせる。</p> <p>○ 「まだわかくてやわらかいうちにとり入れ」がなぜ工夫になるのかを冒頭②段落の「ダイズが十分に育つと・・・」とつないで考えさせる。</p> <p>○ 「日光に当てずに水だけをやって」がなぜ工夫になるのかを 通の育て方と比べて考えさせ ③～⑥段落では工夫して固い大豆を使っていたことを読み取らせる。</p> <p>○ 「できます」と「できあがります」を比べ、簡単においしく食べられるようにした知恵に気付かせる。</p>
1	<p>4 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) 筆者がすごいなあと驚かされたことを書きまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>国分さんは、とり入れる時期や育て方のくふうをすれば、かんたんにダイズを食べられることに気づいた昔の人々のちえに、すごいなあとおどろかされた。</p> </div> <p>(2) 読み方と内容のまとめを発表する。</p>	<p>○ 学習 リン に書き出しと わりの言葉をしておくことで、まとめやすくする。</p> <p>○ 表 に、板書を手がかりにしながら、本時学習で学んだ読み方を使って分かったことを発表させることで、全体での確認をする。</p>